

◎ワーキング・ホリデー制度のための査証料の相互免除に関する日本国政府とオーストラリア政府との間の取極（口上書）の一部改正に関する取極（口上書）

（略称）オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極改正取極

昭和五十七年 十一月三十日 東京で

昭和五十七年 十二月三日 効力発生

昭和五十八年 一月十三日 告示

（外務省告示第十四号）

目 次

オーストラリア側口上書.....	八三
日本側口上書.....	八四

(在京オーストラリア大使館から外務省あての口上書)

No. E 273

(訳文)

口上書

オーストラリア大使館は、外務省に敬意を表するとともに、千九百八十年十一月二十六日付けのオーストラリアと日本国との間のワーキング・ホリデー制度に関する同大使館の口上書第二六六／八〇号に言及する光栄を有する。

大使館は、前記の制度の下においてオーストラリアの当局が査証申請者に対し適用する手続が一部変更されたことに伴い、前記の口上書の第四項を次のとおり変更することを通報する。

オーストラリア政府は、1にいう査証を有する日本国民に対し、最初六箇月までの期間のオーストラリアにおける滞在許可を付与し、適当な場合には、六箇月までの延長を認める。その後の延長又は最初六箇月を超える期間の滞在許可の付与は、オーストラリア政府の権限ある当局の数量による。

オーストラリア大使館は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて外務省に向かつて敬意を表する。

千九百八十二年十一月三十日に東京で

No. E 273

NOTE VERBALE

The Australian Embassy presents its compliments to the Ministry of Foreign Affairs and has the honour to refer to its Note Verbale No.266/80 dated 26 November 1980 regarding the arrangements for the working holiday between Australia and Japan.

The Embassy wishes to advise that in view of slight changes in the procedures to be applied by the Australian Authorities to visa applicants under the said arrangements, paragraph 4 of the above-mentioned Note Verbale should now be replaced by the following:

"The Government of Australia will grant Japanese Nationals who have the visa mentioned in paragraph 1 above permission to stay in Australia for an initial period of up to six(6) months and will also grant, where appropriate, an extension of up to six(6) months. Further extension, or longer initial period of permitted stay, will be subject to the discretion of the competent authorities of the Government of Australia."

The Embassy of Australia avails itself of this opportunity to renew to the Ministry of Foreign Affairs the assurances of its highest consideration.

Tokyo, 30 November 1982

オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極改正取極

八四

Translation

No. 94/EUO

NOTE VERBALE

The Ministry of Foreign Affairs presents its compliments to the Embassy of Australia and has the honour to acknowledge the receipt of the latter's Note Verbale No. E273 dated 30 November 1982 concerning changes in the measures taken by the Government of Australia in connection with the arrangements for the working holiday.

日本側口
上書

(外務省から在京オーストラリア大使館あての口上書)
欧洋第九四号

口上書

外務省は、在本邦オーストラリア大使館に敬意を表するとともに、ワーキング・ホリデー制度に関連してオーストラリア政府がとる措置の一部変更に関する千九百八十二年十一月三十日付け同大使館口上書第E二七三号を受領したことを確認する光榮を有する。

千九百八十二年十二月三日に東京で

(参考)

この取極は、昭和五十五年十一月二十六日付けのオーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極(昭和五十五年二国間条約集及び条約集第三三六四号参照)に基づきオーストラリア政府がとる措置を一部変更することについて両政府間で確認したものである。

Tokyo, December 3, 1982